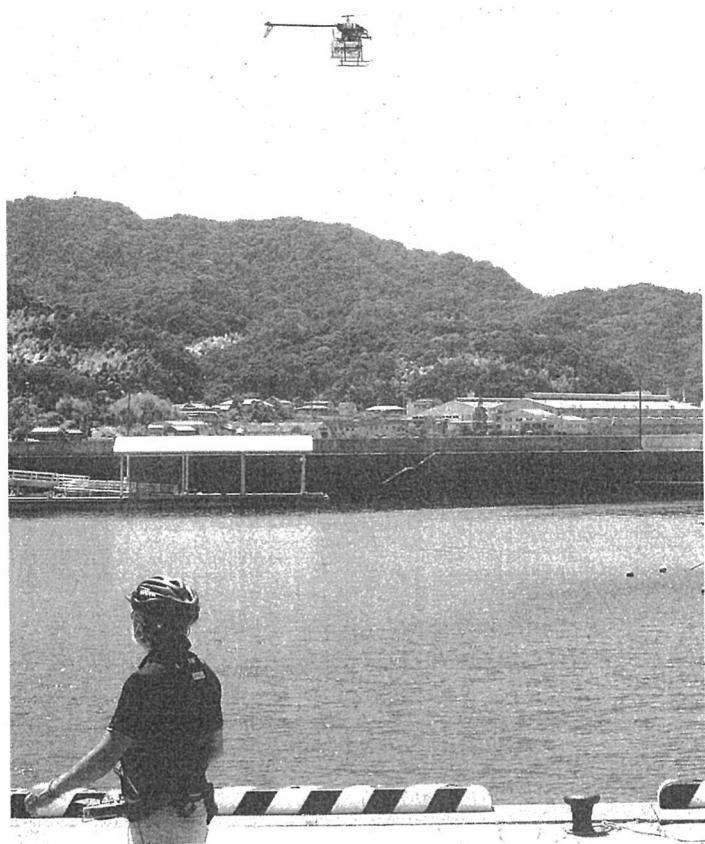


# 離島へ薬 ドローン輸送

香大など栗島で実験



栗島に向けて飛ぶドローン  
実験に使われたドローン（いずれも  
7月30日、三豊市）



栗島に今回の実験に理  
解を示していく、山下昭史

実験をしたのは、香川大  
と、あいおいニッセイ同和  
損害保険、ドローン輸送の事業  
化に取り組んでいる「かも  
めや」（高松市）。全国の  
離島では十分な診療を受け  
ることができないのに加  
え、大規模災害時には旅客  
船の運航が休止となり、島

民の暮らしに不可欠な医療  
品や食料が届かない可能性  
もある。そんな課題を克服  
しようと、香川大瀬戸内圏  
研究センターの特任教授  
で、栗島の診療所で医師も  
務める原量宏さんが5年前  
から思い描き、今回ようや  
く実験が実現した。

離島に住む患者をオンラインなどで遠隔診療し、処方薬などをドローンで運ぶ。  
そんな構想の実現に向け、香川大などが検討を進めていた。7月30日には、三豊  
市詫間町の須田港と約4キロ離れた栗島に実際にドローンを飛ばす実証実験が行わ  
れた。関係者は「安心して島に住み続ける」とができるような環境の実現に向け、  
今度も実験を続けたい」と話す。

（新居重人）

## オンライン診療と合わせ

離島に住む患者をオンラインなどで遠隔診療し、処方薬などをドローンで運ぶ。

須田港側では関係者約30  
人、栗島では市立詫間小  
5年生75人が、重さ15キ  
ログのヘリコプター型のドロ  
ーンを使って往復する様子  
を見守った。1回目は途中  
で海に墜落したため、予備  
機を使って再挑戦。片道3  
分程度で飛び、往復に成功  
した。

須田港と栗島を結ぶ海上  
は、船の往来が少ないなど、  
飛行実験に適していたこと  
から、選んだという。原特  
任教授は「離島での診療  
には、遠隔診療とドロー  
ンを組み合わせることが重  
要。今後は様々なタイプの  
ドローンを試しながら、世  
界中の離島に住む人たちへ  
の有効な医療支援として提  
案できるよう、ノウハウの  
構築を目指したい」と話し  
た。

市長は「三豊発の遠隔地  
医療対策が世界に広がるか  
もしれないと思うとワクワ  
クする。実現に向けて支援  
していきたい」と話してい  
た。